

# ON YOUR SIDE REPORT

## 2023.12

### 京都中央信用金庫の現況

2023年度第3四半期（2023年4月1日～12月31日）における経営情報を開示いたします

#### 京都中央信用金庫の概要（2023年12月31日現在）

本店所在地	京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町91番地		
創立	1940（昭和15）年6月18日	会員数	228,295人
預金	5兆3,523億円	出資金	194億円
貸出金	3兆2,795億円	店舗数	134店舗
職員数	2,425人		

（注）この四半期ディスクロージャーは、当金庫が自主的に開示するものです。計数につきましては、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。なお、内容や諸計数については、会計監査人の監査を受けておりません。本資料は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。



## TOPICS

2023年10月1日～12月31日

### 10月

- 2024年度入社予定者内定式開催
- 京都信用金庫とのメールカー（郵送物等搬送車）の共同運行を開始
- 京都ジョブパークと連携し外国人留学生対象の合同企業説明会「KYOTOジョブフェア」開催
- 「中信ビジネスフェア2023」（「第35回大商談会」・「中信学生デザインコンテスト2023」）開催
- 「羽田家のキモノ 羽田登喜男・登・登喜 友禅の心を伝える」展開催（中信美術館 13日～11月30日）
- 京都中央信用金庫×松坂屋高槻店「地域の美味 発見フェア」開催（25日～31日）
- 第129回「中信青年経営者倶楽部」例会開催

### 11月

- 京税中信クラブ「懇親会」開催
- 第144回「中信禅サークル」《妙心寺》開催
- 上半期ディスクロージャー誌『京都中央信用金庫の現況 ON YOUR SIDE REPORT 2023.9』発行

### 12月

- 内定者交流イベント「中信スポーツフェスタ'24」実施
- 「歳末ふれあい募金」公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団へ寄託



2024年度入社予定者内定式

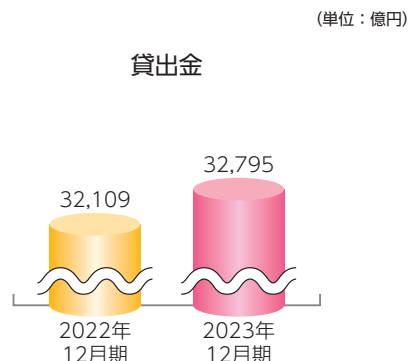
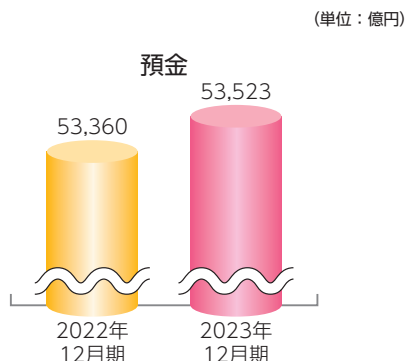


「歳末ふれあい募金」寄託

## 預金・貸出金の状況

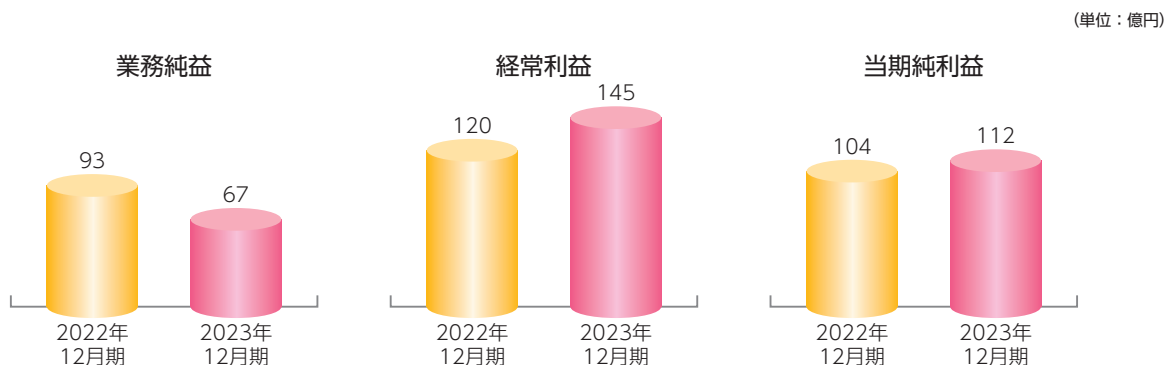
預金残高は、個人預金・法人預金が順調に推移した結果、前年同期比163億円増加し、5兆3,523億円となりました。

貸出金残高は、地元中小企業者や一般個人のみなさまへの円滑な資金供給に積極的に努めた結果、前年同期比685億円増加し、3兆2,795億円となりました。



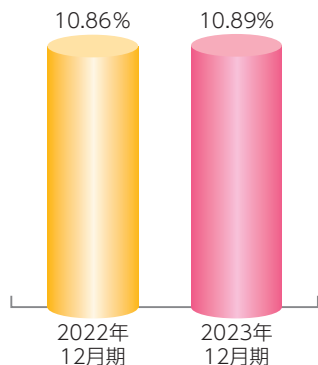
## 損益の状況

2023年12月期の業務純益は、前年同期比26億円減少し67億円となりました。経常利益は、前年同期比25億円増加し145億円、当期純利益は、同8億円増加し112億円となりました。



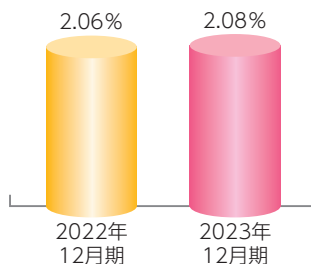
## 自己資本比率の状況〈単体〉

2023年12月期の自己資本比率は、内部留保額を順調に積み上げたこと等から、前年同期比0.03ポイント上昇の10.89%となり、国内基準4%を大きく上回っております。



## 開示債権の状況

2023年12月期の金融再生法開示債権のうち正常債権を除いた合計額は683億円、金融再生法開示債権全体に対する比率は2.08%となりました。



(注) 本ページの預金には譲渡性預金を含みます。

## 預金・貸出金の状況

(単位：億円)

	2022年12月期	2023年12月期	増減
預 金 (A)	53,360	53,523	163
貸 出 金 (B)	32,109	32,795	685
預 貸 率 (B÷A)	60.17%	61.27%	1.10%

(注1) 預金には譲渡性預金を含みます。

(注2) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

## 損益の状況

(単位：億円)

	2022年12月期	2023年12月期	増減
業 務 純 益	93	67	△26
経 常 利 益	120	145	25
当 期 純 利 益	104	112	8

(注) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

## 自己資本比率の状況 (単体)

(単位：億円)

	2022年12月期	2023年12月期	増減
自 己 資 本 額 (A)	2,969	3,081	112
リスク・アセット等 (B)	27,328	28,296	968
自 己 資 本 比 率 (A÷B)	10.86%	10.89%	0.03%

(注1) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（2006年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

(注2) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

## 開示債権の状況

(単位：億円)

金融再生法による 開 示 残 高	2022年12月期	構成比	2023年12月期	構成比	増減
破産更生債権及び これらに準ずる債権	82	0.26%	97	0.30%	15
危 険 債 権	531	1.65%	512	1.56%	△19
要 管 理 債 権	49	0.15%	73	0.22%	23
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	49	0.15%	73	0.22%	23
小 計	664	2.06%	683	2.08%	19
正 常 債 権	31,533	97.94%	32,191	97.92%	657
合 計	32,197	100.00%	32,875	100.00%	677

(注) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。